

令和6年度東蒲中学校 校内研究結果報告

〈研究テーマ〉

全ての生徒の「分かる・できる」を目指す授業改善

～ユニバーサルデザインの視点を生かして～

〈研究授業〉

日程	授業内容
7月17日(水)	第3学年 国語「言葉とともに-表現を楽しみ、言葉の世界の奥深さを知る」
10月16日(水)	第2学年 国語「徒然草」
1月22日(水)	第1学年 家庭科「被服分野 界面活性剤」

〈講師〉

杉並区教育委員会特別支援教育課、大田区発達障がい支援アドバイザー

南 俊彦 先生

〈成果〉

- ・全員の生徒が意欲をもって授業に向かう姿勢が養われていた。
- ・全ての教員が互いの工夫を共有しあうことができたため、学校としてのスタンダードが固まった。
- ・教科にしばられない研究テーマであったため、教員間で意見交流が活発に進み、若手教員からベテラン教員まで多様な意見を交流することができた。

〈課題〉

- ・学校全体として、生徒の実態をつかみ切れていないところがある。そのため、年に数回のアンケートなどを実施し、実態を把握した上で必要な授業改善を考えていく必要がある。